

青年国際交流事業の見直しの経緯について

6月11日 行政事業レビュー・公開プロセス

- 評決結果：廃止（廃止3、大幅改善2、部分改善1）
- 取りまとめコメント：

青年国際交流事業全体について、全体プログラム、スキームの大幅な見直し、改善、効果測定がない限り廃止するべきである。様々な御意見があったことを踏まえつつ、十分検討し対応する。



7月 青年国際交流事業の効果測定・評価に関する検討会

- 行政事業レビュー・公開プロセスの結果を受け、政策評価・外交等の有識者を構成員とする検討会を開催。
 - ・ 青年国際交流事業の効果の体系的整理、関係者ヒアリング。
 - ・ これまでの参加青年に対し、効果測定のためのアンケート調査。

（8月20日 中間報告）

- 諸外国との友好親善、日本人青年リーダー育成の両面で高い効果
- 内外からの評価や事後活動組織は、我が国にとってかけがえのない財産
- 必要な見直しを行いつつ、発展的に継続させるべき

8月17日 岡田副総理（行政刷新担当大臣）指摘事項を記者発表

- 「世界青年の船」を国の事業としては廃止
- 他の事業についても見直しを行い、予算規模を半分程度に削減 等



9月7日 平成25年度概算要求

- 8.75億円を概算要求（平成24年度予算13.12億円の3分の2程度）
- 「東南アジア青年の船」事業、国際青年育成交流事業、日本・中国青年親善交流事業、日本・韓国青年親善交流事業等を要求。
- 「世界青年の船」事業は、要求せず。



平成25年1月11日 平成25年度概算要求

- 「グローバルリーダーの育成」について事項要求 ⇒ 2.0億円計上